

# 顔

セミナー出席のため来県したフラワープロデューサー

KAORUKOさん



本名・杉本薫子。KAORUKO社長。全日本フラワー協会理事。横浜市。

## 日本式アレンジを世界に

テレビや雑誌に引っ張りだこのフラワープロデューサー。甲府で行われたセミナーでは、フラワー業界に携わる受講生を前に「花には、その人の心、生きざまが表れる。人間的な魅力がないと、

感動を与えるものは生み出せない。技術も大事だけれど、まず自身を磨いてほしい」と呼びかけた。

ピンクのミニバラを使ったかわいらしいブーケや、華やかなテーブルフラワー…。手を器用に動かし、見る間にフラワーアレンジメントを仕上げる。「まるで魔法の手のよう」と言われるけど、私にとっては、毎朝の歯磨きのように自然な動作」。腱鞘炎に

なるほどの練習を重ねて無駄な力の抜き方を覚え、獲得したなめらかな動きだ。17年前、主婦業のかたわらフラワーサロンを開設。結婚式を飾る装花のプロデュースを始めた。これまでに手掛けたカップルは2万組以上。一組一組に会って出会いのストーリーを聞き、2人の門出を花で演出してきた。1999年から、デザイナー桂由美さんのファッションショーのステージ装花を担当。花嫁のドレスの動きに合わせて揺れるブーケを手掛けたことで一躍有名になっ

最近では、中国などに招かれて海外の若者に指導する機会が増えた。「見知らぬ青少年との出会いが楽しみ。ジャパンーズ・フラワーアレンジメントを世界に伝えたい」

〈桑原 久美子〉

それ以上のものをたくさんもらった気がする。あきらめな心。それを今夏の野球応援れば、乗り越えられるだろう

(農林高3年・村松大輔)

米山よし子 仏壇に線香今日が動きだし  
芽柳や池のほとりにホームレ 山本とし子  
ス 増田 徳江 フルムーン旅のかおりをアル (05  
小林)

茶の首 (05  
△16

た。日本人で初めてパリ・コレクションのフラワーコーディネートを担当するなど、世界に活躍の場を広げている。フラワープロデューサーの第一人者として活躍してきた10年を振り返り、プロとして自分に妥協せず、一つ一つの仕事に真摯に取り組んできたことが今につながっている」と語る。

△生 旗柄の 215 旗柄の 215 旗柄の 215

△生 旗柄の 215 旗柄の 215 旗柄の 215